

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 魚 谷 純

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857) 27-5566



魚谷純委員長

政治活動とは我々に課せられた崇高なものであると思っている。我々のためにはなく、国民に良い医療を提供するための医政活動であり、横倉日医会長も持

執行委員会では、魚谷委員長が挨拶の後、議長となり議事を進行した。
魚谷純委員長挨拶
本日は台風が迫るなかご参集いただき感謝申し上げますとともに、日頃医師連盟の活動にご理解ご協力をいただき御礼申し上げます。本

日の議事は平成二十五年度事業報告、収支決算のほか国会報告として三人の国会議員の先生においていただいた。医師連盟の医政活動はとかく「胡散臭い」と言われるが、そうではなく、昔から「医政無くして医療なし」と言われている。医

鳥取県医師連盟は、八月九日、米子全日空ホテルにおいて執行委員会を開催し、平成二十五年度収支決算を承認した他、赤澤亮正代議士、羽生田俊・舞立昇治両参議院議員から国会報告を聞いた。

平成二十五年度 収支決算を承認 執行委員会

続可能な社会保障制度のために是非々々で対応すると述べている。本日は三人の国会議員においていただいたので我々の声、国民のための医療をしっかりと届けたい。本日はよろしくお願いしたい。

○平成二十五年度 事業報告

平成二十五年度の主な事業報告（一部二十六年度分を含む）について明穂副委員長から説明がなされた。昨年度は七月に参議院選挙が行なわれ、元日本医師会副会長の羽生田俊先生が自民党比例区第六位で当選された。

また、平成二十六年度事業では去る七月二十九日開催された日本医師連盟執行委員会において役員等の人事が承認され、常任執行委員（十六名）には日本医師会の役員若干名、全国八ブロックからの推薦者、日医連委員長指名若干名などが就任したが、魚谷委員長が日医連委員長指名による日



会 場 風 景

本医師連盟常任執行委員に選出された。

○平成二十五年度決算

平成二十五年度収支決算では、会計責任者の瀬川執行委員から説明がなされ、新田会計監査者から適正である旨の監査報告があり、賛成多数で決算が承認された。詳細は別記のとおり。

○平成二十六年度地区連絡費

昨年度から地区連絡費は負担金納入額の二〇%を交付しているが、平成二十六年年度についても同様に二〇%を交付することと決定した。

医師連盟執行委員会

日 時 平成26年8月9日(土)

午後5時40分～

6時40分

場 所 米子全日空ホテル

国会報告(要旨)

■参議院議員

羽生田 俊先生

みなさま、こんにちは。昨年七月の参議院選挙では皆様方のご支援をいただき、全国から二四九、八一八票と大変多くの票をいただき、自民党第六位の得票

で当選させていただいた。一年が経過したが「初心忘るべからず」と仕事しており、ようやく「参議院議員の羽生田です」と自己紹介できるようになった。

昨年八月に社会保障国民会議の報告書が出て、いわゆるプログラム法案が成立した。これから医療法改正があるが一番は有床診療所の扱いである。今後の地域包括ケアシステムにあつて地域で密着した入院施設は非常に大きい地位を占めており、活用しないのはおかしい、法律の中でしっかりと位置づけるべきある、と

羽生田俊参議院議員

声を大にして言っており、厚生労働部会で発言したことから有床診療所の診療報酬アップにつながった。これから病床機能報告などいろいろあるが、知事の権限が

大きくなるので、地域で医師会がしっかりと議論していかなくてはいけない。全国には医師会と知事との仲が悪い自治体がある。看護学校に対する補助金をゼロにした予算を県議会が反対してつぶした県もある。これからも医師会が中心となつて地域医療を作っていくべきであり、県議会や地域の議会が重要となつてくるのでしっかりと議論していただきたい。

「岩盤にドリルで穴をと政府曰く 骨太の骨を斧で砕くと 羽生田曰く」と業界紙に川柳が掲載された。岩盤規制といわれるが医療界の岩盤とは国民の命を守ることである。

今後とも現場の声を国政の場に届けるという仕事をさせていただきたいのでご支援お願いしたい。

■参議院議員

舞立昇治先生

みなさま、こんばんは。

魚谷委員長、各地区医師連盟委員長をはじめ医師連盟の先生方には日ごろ物心両面から支えていただき感謝申し上げます。お蔭様で昨年の選挙では県内全ての市町村で勝たせていただきました。羽生田先生と同期で国会対策委員としていろいろ委員会に出席している。会議では、野次ることが一年生議員の役割」と言われており、羽生田先生の声は議場によく通り、日々勉強させていただいている。先の

国会で初めて農林水産委員会で質問する機会があったが、医療と同様に農業の分野でも農協という岩盤の規制改革の議論がある。都会の市場原理主義者の言う規制改革は問題があり、地方や現場の声を聞かなければ改革は進まない。

約二三〇名もの国民医療を守る国会議員の会に参加している。昔厚生労働省に出向していたが、医療や介護など社会保障に関しては非常に関心をもっている分野である。今社会保障費は予算規模で約三十兆円となり、消費税八%で二十兆円、

舞立昇治参議院議員

一〇%でも二十五兆円であるが賄えていない。子育て問題などを含み、今後持続可能な制度とするべく取り組んでいきたい。医療における消費税問題は一〇%に向



けてどう解決していくのか、医療界が一本化してきているようであり、実現に向けて尽力したい。

参議院の選挙制度の改革議論が急ピッチで進んでいる。鳥取と鳥根の合区など人口の少ない十二選挙区で減らして都会で増やす案が示されている。県の代表、比例区という参議院の今までのあり方からして、県をまたいで地域の声というのはむずかしいのではないか。国民の声が届かなくなり、国会との距離が遠くなり、政治離れが進んでしまう。最近では合区の議論は下火になり、近隣の但馬地方の人口を切り取るなどの妥協案が出ているが、地域の混乱を招き、人口減少社会にあつていずれ問題となる。参議院は人口問題とくみしない。憲法にも公職選挙法にもほとんど記載がないので、人口、地域のこと

を特例として公職選挙法に記載するなど議論すべきである。年末に向けてまとめられる予定である。

いずれにしても僻地医療など地方の声を大切に地方再生に、国政に力を注ぎたい。日ごろ地域医療へのご尽力、医師連盟の発展、皆様方のご隆盛を祈念して挨拶としたい。

■衆議院議員

赤澤亮正代議士

こんばんは。現在、自民党の国土交通部長をしているので同時開催の厚生労働部会に出席出来ないが、



赤澤亮正代議士

日頃医師会の諸先生方には大変お世話になっており感謝申し上げますと共に今後ともよろしくお願いしたい。

自民党と医師会は仲良くしないといけない。過去には自民党を応援しない日本医師会長の時はうまくいかないで辛い思いをした。二年前横倉会長が誕生し今回再選されたことはうれしいことであり、国民に安全で

安心な医療を提供することには自民党も意を汲んでお役に立ちたい。

羽生田先生は頼もしい先生である。福岡県の有床診療所で痛ましい火災があつたことについて「厚生労働省は今まで有床診療所を見捨ててきたではないか、しっかりと対応しないと医療が担保できない」と自民党の中心になつて活躍された。

年金、医療などの社会保障費を除いた国家予算は先進国の中ではビリである。無駄を無くせば予算が出るというが、無駄というのは主観的なものである。政治家は無駄のことを言えば受けがいいが、防衛費、教育費など最低であり、消費税アップは必要である。高齢化がスピードアップしており、社会保障費は毎年一兆円増えている。今の消費税では足りない。税率が低く

外国からは不思議に思われている。医療の損税のことも含めしっかりと対応したい。社会保障の重点化、効率化は必要で、関係職員の処遇アップはすべきである。医療、介護や年金などの「保険機能をとり戻す」ことで、豊かな人には我慢してもらおう。自動車保険を例にと「事故が起きなかつたから保険料返せ」という人はいない、掛け捨てであ

る。リスクが顕在化しなければ保険料は返さない、これが本来の保険であるが、年金や介護は保険だがそうはなっていない。生活の収入がないから年金保険、障害となつたから介護保険であるが、豊かな人は少し諦めてもらうような制度を考

えるべきである。先般、石破グループの会合が越後湯沢において開催され、舞立議員と参加したほか三十名もの国会議員が集まった。田村厚生労働大臣も出席した。鳥取県民は石破総理総裁誕生が悲願である。安倍総理の最大のライバルは石破氏であり、党役員人事を前に多くの議員が集まったことはうれしかった。石破総理実現に向けて努力したい。

自民党員獲得いただき感謝したい。今後とも医師会と自民党仲良く、ご支援をよろしくお願いしたい。

自民党員獲得いただき感謝したい。今後とも医師会と自民党仲良く、ご支援をよろしくお願いしたい。

(日医. 各県役員の改選に伴う)
※魚谷委員長が日医連常任執行委員に選出!

②平成26年度交付金について

■日医連医政活動研究会

<第1回>

- 日時 平成25年12月15日
 場所 東京ステーションコンファレンス
 出席者 委員：清水正人先生、池田光之先生。
 魚谷純委員長
- 研究会 ①医政活動について～選挙、具体的な陳情活動等～
 日医連副委員長 今村 聡先生
 ②医療政策について～診療報酬、医学部設置等～
 日医連副委員長 中川俊男先生
 ③医療政策について～医療をめぐる税制の諸課題～
 日医連副委員長 今村 聡先生

<第2回>

- 日時 平成26年2月11日
 場所 ホテルグランヴィア広島
 出席者 委員：清水正人先生、池田光之先生。
 明徳政裕副委員長
- 研究会 ①医療・介護の改革の方向
 日医連常任執行委員 高杉敬久先生
 ②消費税と法人相続について
 自民党副幹事長・衆議院議員
 寺田 稔先生 (広島5区選出)

■国民医療を守る議員の会総会

<第1回>

- 日時 平成25年11月19日
 場所 ホテルニューオータニ東京
 出席者 魚谷純委員長、随行谷口事務局長
 議事 ①役員人事について
 ②意見交換

<第2回>

- 日時 平成26年5月20日
 場所 東京・憲政記念館
 出席者 魚谷純委員長、随行谷口事務局長
 議事 ①あいさつ (高村正彦衆議院議員、横倉義武日医連委員長)
 ②活動状況報告 (鴨下一郎衆議院議員)
 ③意見交換 (舞立昇治参議院議員出席)

■選挙のあり方についての会合

- 日時 平成25年9月6日
 場所 日本医師会館
 出席者 谷口事務局長、塚谷係長
 議事 ①参議院選挙結果について
 ②アンケート結果について
 ③各都道府県からの感想と今後の対応について

3. 選挙関係

■第23回参議院議員選挙

(平成25年7月21日投票)

投票率58.88%

【鳥取選挙区】 (全県)

【比例区】 (全国) (県内)

舞立 昇治 (自民)	160,783	当選	羽生田たかし (自民)	249,818	1,494	当選 比例区第6位
川上 義博 (民主)	82,717					
岩永 尚之 (共産)	19,600					
吉岡ゆりこ (幸福)	6,782					
井上 洋 (無)	6,158					

4. 羽生田たかし先生の支援

- 横倉義武日本医師連盟委員長の来訪
 期 日 平成25年5月31日～6月1日
 概要 ・東部地区の病院、診療所等を訪問
 ・講演会 (ホテルニューオータニ)
- 街宣車の鳥取県入り
 期 日 平成25年6月10日
 概要 ・西部～中部～東部の順で街頭宣伝
 ・日医連が対応
- 励ます会の開催 (中部)
 期 日 平成25年6月12日
 場 所 倉吉シティホテル
 概要 ・舞立昇治氏あいさつ
- 励ます会の開催 (西部)
 期 日 平成25年6月13日
 場 所 西部医師会館

5. 自民党鳥取県医師連盟支部の党員拡張

- 日本医師連盟からの要請に基づき、医師連盟負担金納入会員のうち、自民党未入党の先生方へ入党のお願いの書面を送付。(平成26年7月22日)
 ・平成25年度更新の党員数 228名
 ・平成26年度更新の党員数 223名
 ・平成26年度新規入党者 36名
 ・現時点での党員数合計 259名

6. その他

- 広報活動としてリーフレット「医師連盟 TOTTORI」を3回 (第28～30号) 発行した。
 ○参議院選挙応援のため鳥取県入りされた田村憲久厚生労働大臣との昼食会が平成25年7月9日、舞立昇治事務所で開催され、野坂西部医師会長、樋口歯科医師会長、小林健治薬剤師会長、県会議員などが出席し、保健、医療行政等について意見交換を行った。(魚谷委員長は所用のため上京中。)

平成25年度鳥取県医師連盟の事業概要

(一部平成26年度分を含む)

自 平成25年 4 月 1 日
至 平成26年 8 月 9 日
[敬称略]

1. 鳥取県医師連盟関係

■執行委員会

<第 1 回>

日 時 平成25年 6 月29日
場 所 ホテルニューオータニ鳥取
議 事 ①役員人事について
②平成24年度事業報告について
③参議院議員選挙対策について

<第 2 回>

日 時 平成25年 8 月 8 日
場 所 鳥取県医師会館
議 事 ①人事について
②平成24年度収支決算承認について
③平成25年度地区連絡費について
④7/23日医連執行委員会出席報告
⑤参議院議員選挙結果について

<平成26年度>

日 時 平成26年 8 月 9 日
場 所 米子全日空ホテル
議 事 ①平成25年度事業報告について
②平成25年度収支決算承認について
③平成26年度地区連絡費について
④国会議員の国会報告(赤澤亮正代議
士、羽生田俊・舞立昇治両参議院議
員)

■常任執行委員会(拡大:理事会後)

<第 1 回>

日 時 平成25年 4 月11日
場 所 鳥取県医師会館
議 事 ①羽生田たかし先生の支援について
②小泉進次郎衆議院議員、街頭演説会
について(4/13)
③片山さつき参議院議員との懇談会に
ついて(4/27)
④羽生田たかし先生を励ます会につい
て(6/12-13)

<第 2 回>

日 時 平成25年 5 月23日
場 所 鳥取県医師会館
議 事 ①日本医師連盟横倉義武委員長の鳥取
県訪問について(5/31-6/1)
②羽生田たかし先生の支援について
③今後の予定について

<第 3 回>

日 時 平成25年 6 月20日

場 所 鳥取県医師会館
議 事 ①平成24年度事業報告
②日本医師連盟横倉義武委員長の鳥取
県訪問について(5/31-6/1)
③羽生田たかし先生の鳥取県訪問につ
いて(6/12-13)
④サポーター名簿の獲得状況について
(6/17現在第4次)
⑤執行委員会の開催について

<第 4 回>

日 時 平成26年 3 月20日
場 所 鳥取県医師会館
議 事 ①平成25年度事業報告
②「自民党青年局と日医連との意見交
換会」委員について
③自民党鳥取県連「TOTTORI政
治塾」第1期生募集について
④平成26年度負担金の徴収について
⑤連盟会員の状況について

2. 日本医師連盟関係

■日本医師連盟執行委員会

<第 1 回>

日 時 平成25年 7 月23日
場 所 日本医師会館
出席者 魚谷純委員長、明徳政裕副委員長
議 事 ①日本医師連盟役員等の人事について
(各県役員の一部改選に伴う)
②平成25年度交付金について
③参議院選挙結果について

<第 2 回>

日 時 平成26年 1 月21日
場 所 日本医師会館
出席者 魚谷純委員長、明徳政裕副委員長、渡
辺憲常任執行委員
議 事 ①日本医師連盟役員人事等について
②平成24年度日本医師連盟収支決算報
告について
③平成26年度日本医師連盟の負担基準
額について

<平成26年度 第 1 回>

日 時 平成26年 7 月29日
場 所 日本医師会館
出席者 魚谷純委員長、明徳政裕副委員長
議 事 ①日本医師連盟役員等の人事について

平成25年度鳥取県医師連盟収支決算書

【収入の部】

(単位:円)

款	項	予算額	収入済額	差引残額	摘 要
1. 会 費 (36.58%)		11,420,000	11,382,500	- 37,500	東部 4,170,000 円 中部 1,960,000 円 西部 5,252,500 円
	1. 会 費	11,410,000	11,382,500	- 27,500	
	2. 特 別 会 費	10,000	0	- 10,000	
2. 寄 付 金 (13.44%)		2,976,000	4,181,500	1,205,500	交付金 2,976,000 円 羽生田先生、支援活動交付金 1,205,500 円
	1. 日医連寄付金	2,976,000	4,181,500	1,205,500	
3. その他の収入 (0.07%)		1,000	22,795	21,795	普通預金利息他
	1. 雑 入	1,000	22,795	21,795	
4. 繰 越 金 (49.91%)		14,000,000	15,529,206	1,529,206	前年度繰越金
	1. 繰 越 金	14,000,000	15,529,206	1,529,206	
収 入 合 計		28,397,000	31,116,001	2,719,001	

【支出の部】

(単位:円)

款	項	予算額	支出済額	差引残額	摘 要
1. 事 務 費 (1.34%)		200,000	190,481	- 9,519	電話代、印刷費、送料他
	1. 一 般 事 務 費	200,000	190,481	- 9,519	
2. 組 織 活 動 費 (18.91%)		3,860,000	2,687,205	- 1,172,795	国民政治協会費 医師連盟 TOTTORI 3 回発行
	1. 旅 費	2,000,000	259,160	- 1,740,840	
	2. 会 議 費	500,000	438,448	- 61,552	
	3. 懇 談 会 費	1,000,000	1,532,444	532,444	
	4. 負 担 金	60,000	60,000	0	
	5. 広 報 費	300,000	397,153	97,153	
3. 選 挙 関 係 費 (7.04%)		1,000,000	1,000,000	0	
	1. 寄 付 金	1,000,000	1,000,000	0	
4. 寄 付 交 付 金 (72.71%)		9,577,000	10,332,100	755,100	@ 20,000 円 × 372 人 東部 834,000 円 中部 392,000 円 西部 1,050,500 円 @ 2,700 円 × 228 人
	1. 日医連負担金	7,440,000	7,440,000	0	
	2. 地 区 連 絡 費	1,500,000	2,276,500	776,500	
	3. 支 部 交 付 金	637,000	615,600	- 21,400	
5. その他の経費 (0%)		13,760,000	0	- 13,760,000	
	1. 予 備 費	13,760,000	0	- 13,760,000	
支 出 合 計		28,397,000	14,209,786	- 14,187,214	

収支差引残額 16,906,215 円は平成 26 年度へ繰越